

石岡二高チャレンジ・プロジェクト通信

2021年7月6日（火）

「石岡市の地域資源を知る体験学習」の実施

2021年7月6日(火)、第2学年の生徒が石岡市にある「朝日里山学校」での体験プログラムに参加し、地元の農産物や自然・山林・歴史などの地域資源を活かしたまちづくりについて考えました。当日は朝のうちはあいにくの雨でしたが、活動をする頃にはあがって貴重な梅雨の晴れ間で体験活動を行うことができました。

クラスごとにジャムづくり、ピザづくり、ジャガイモ掘り、ジャガバタづくり、自然散策などを行い、生徒たちは入学してから初めてとなる校外学習を満喫している様子でした。事業実施後のアンケートからは、生徒たちが八郷の自然や有機農業の魅力、歴史や人の温かさなど地域資源の魅力が再発見した様子が伝わってきます。

石岡二高は石岡市の地域資源を知る体験学習を通じて、地域社会の魅力を理解した地域社会の担い手を育成していきます。



開講式



自然散策



ジャム作り



じゃがいも掘り



じゃがバタ作り



ピザ作り

「自然に触れるのはかなり久しぶりだったので自然の良さを感じました。おいしいじゃがいもとブルーベリーでした。」

「ピザ作りとじゃがいも掘りとじゃがバターが自分で作ったからとても美味しく感じた1日とても楽しく過ごした」

「石岡の農作物を使って料理を作ったり、廃校の小学校を色んな人との触れ合いの場として、日常では体験できないようなことをできた事に魅力を感じました！」

「ブルーベリーの作り方や、じゃがいもの収穫の大変さを改めて実感することができて、とても楽しかった。」

「体験学習を通して、友達や周りの人との交流を深められたのはもちろん、周りの自然を感じたりその地元の魅力などを沢山知ることが出来ました。」

「自然の中で作られたじゃがいもを自分の手でほって食べることで、農業の魅力や、ブルーベリーなどの食物を無駄にしない料理など色々な魅力が感じられました。」

振り返りシートの感想

(文責・写真: 門井)